

西山堂慶和病院

医師紹介

4月より着任した常勤医師をご紹介します



泌尿器科医
近藤 俊 医師

ベテランの域なので経歴は短く端折ります。高校までは埼玉、卒業は秋田大学で、卒後は教官生活を延々と続け、一身上の都合で関東

に戻って茨城で勤務医生活になりました。そこからすぐに貞心会に非常勤として勤務してきました。いよいよ今回から常勤でお世話になります。医師は医療制度の枠内でしか動けないのは、これまで経験済です。制度も時代もさらに動きます。ですが、常勤になってこれまでより活動範囲がより広がればと考えています。医師以外の異能についても許容して頂いて、私にとっては働きやすい環境です。もとより微力ですが、よりよい病院環境や実績に貢献できればと思います。よろしくお願ひいたします。



消化器外科医
岩崎 喜実 医師

獨協医科大学病院 第二外科より赴任しました、岩崎喜実です。ずっと大学病院での勤務が長かったので、縁があって西山堂慶

和病院で勤務することになりました。毎日雄大な自然を眺めながら通勤して早いもので2カ月が過ぎ、茨城県の自然とそこに暮らす人々に愛着を持ちながら、外科治療に励み始めました。専門は消化器良悪性疾患・肛門疾患の外科治療ですが、ポリープ切除術や消化管出血に対する止血術などの内視鏡下治療・抗がん剤治療・緩和医療にも携わっております。安全確実な治療を提供し、地域医療に貢献できるよう頑張ります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



内科医
横山 陽一 医師

はじめまして。東京女子医科大学病院の糖尿病センターより赴任しました、横山陽一と申します。糖尿病合併症は“しめじ”、と覚えるように、

よく患者さんにはお話ししています。“し：神経障害、め：眼(網膜症)、じ：腎症”のゴロですが、私は大学病院で主に“じ”の治療や研究に携わっていました。腎症の終着点は透析治療です。(腎移植という手段もありますが...) これまで多くの透析患者さんを診てきましたが、やはり透析は負担の大きい治療でもあるため、なるべくそこに辿り着かないよう、血糖コントロールを基本とする様々な医療を皆様に提供できればと存じます。1年間という短い期間ではありますが、何卒宜しくお願ひ申し上げます。



内科医
北原 慶次郎 医師

獨協医科大学病院 心臓・血管内科より赴任しました、北原慶次郎と申します。西山堂慶和病院で働き始め早くも2ヶ月が経とうとして

います。専門性の高い大学病院から、一般内科医として勤務するにあたり、その環境や疾患分野の範囲の変化に戸惑うこともあります。スタッフの皆様の温かいサポートの下で日々診療に携わることができております。市中病院として地域に密着したより良い医療の提供、また保健福祉サービス機関とのより良い連携を目標に日々精進させていただきます。1年間と短い期間ではありますが、どうぞよろしくお願ひ致します。

地域医療連携室の紹介

「真心とサービス」がモットーです。

地域医療連携室は、地域の皆様と西山堂慶和病院をお繋ぎする部署です。患者様がスムーズに受診や入退院ができるように、他の医療機関や介護施設等と連絡調整をします。何かお困りの事がございましたら、お気軽にご相談ください。

○地域医療連携室の業務内容

介護保険や福祉制度に関する相談、退院後の相談(在宅医療・転院先・施設入所等)、医療機関や関係施設への連絡調整、医療費の相談

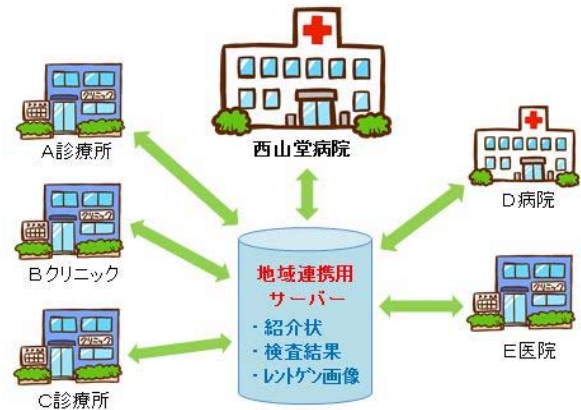


西山堂病院

地域医療連携システム 連携による医療の質の向上と効率化の実現へ

この度、常陸太田市医師会では、当院を中心とした地域連携システムを2018年2月よりスタートさせました。地域連携システムは、西山堂病院にファイルサーバーを立ち上げ、各参加医療機関が一つのファイルサーバー上で患者様の各検査結果、紹介状等の文書やレントゲン画像の情報共有を図る事により、重複した薬の処方、検査、写真撮影の防止や、情報共有による効率的で安全な質の高い医療を患者様に提供する事を目的としています。

このシステムは、患者様のプライバシーを厳重に保護し、外部に情報が漏れないようなセキュリティを構築しておりますので、安心して利用する事が可能になっています。



今回スタートしたシステムは医療連携の部分になりますが、今後は看護、介護、リハビリテーションといった情報の連携も構築していく予定ですので、入院から在宅介護に移行する患者様の情報共有がスムーズにでき、地域が一体となって患者様の医療・介護を支える仕組みが期待できると思います。

看護の日イベント開催 地域の皆様との交流を大切に

西山堂病院では、毎年ナイチンゲールの誕生日にちなみ制定された5月12日(看護の日)を含む看護週間に合わせて「看護の日のイベント」を行っています。

今年も、地域の皆様とのふれあいを大切に、医療・看護・介護についての相談を通じて、地域の皆様の健康に少しでもお役に立てればとの想いから、「看護の日のイベント」の開催を企画しました。

5月13日(日)に25回目となる「看護の日のイベント」をカスミ常陸太田店様のご協力で、150名を超える地域の方々にお越しいただき、盛大に行うことができました。



看護師による「血圧・血糖測定」のほか、専門職による「介護相談」や「禁煙相談・ニコチン測定」、「ちびっこ白衣体験」を行い、「ちびっこ白衣体験」では、子供たち約30名が可愛らしく白衣に身を包んで記念撮影をしたり(記念写真をお持ち帰りいただきました)、心肺蘇生法を体験したりと、未来の看護師さんたちの可愛らしくも頼もしい姿に、私たちもたくさんの笑顔をもらいました。

看護の日のイベントは、日ごろ気軽に接したりお話しする事ができない地域の皆様と私たちとの大切な交流の場と考えています。

1年に1回の開催ではありますが、今年参加された方も参加できなかった方も、来年以降も地域の皆様に貢献し喜んでいただけるイベントを開催していきますので、ぜひ参加してみてください。

西山堂病院では、今後も基本理念である「真心とサービス」を継承し、患者様・ご家族様の声に耳を傾け、安心・安全で信頼される医療・看護・介護の提供を心がけ、地域の皆様に愛される病院を目指して参ります。

介護老人保健施設 はすみ敬愛

日々の様子

あたらしい仲間がやってきました

メダカを飼育しています。
写真なので見えにくいのですが
元気に泳いでいます。
飼育を始めて半年が経過しました。
今、卵が孵ろうとしています。
早く元気なメダカの子供達を見たいと
利用者様 職員共々心待ちにしています。



栄養課からは、行事食を1部
紹介させていただきます。

5月4日 みどりの日「三色丼」



5月5日 こどもの日
おやつ「どら焼き」



利用者様が制作した「稀勢の里」が
「月間 デイ」に掲載されました。
ちぎり絵といっても色合わせや
線の合わせなど難しいのですが、
利用者様同士で声をかけあいなが
ら協力して制作しました。



通所リハビリテーション

皆様の作品のご紹介です

通所リハビリテーションの皆様が作りました壁画と壁飾りです。

季節ごとに色とりどりに飾られます。 作品は、どれも素敵で、すばらしいものばかりです！

【ふじの花】



【作品の紹介です！】



【春らしく彩られました】



事務所の前には いつもお花が飾られております。
写真の花は、利用者様のご家族様や通所リハビリ
に通っていらっしゃる方々からいただいたものです。
利用者様もお花を見に事務所まで足を運んでくれま
す。
季節を感じる事ができる素敵な花々です。
お花の美しさから会話もはずみます。
皆様 いつもありがとうございます。
心から 感謝申し上げます。



お知らせ

『まごころ祭り』を今年も開催いたします！

「はすみ敬愛 まごころ祭」を開催します。ご利用者の皆様と楽しく！元気がでる！お祭りが出来るように現在、準備中です。
日程や内容は、随時 施設内に掲示をいたします。
ご家族様も どうぞお越しください！



医療法人 西山会

私たちの中央クリニック

小児科からのお知らせ 夏場に流行しやすい発疹を伴った疾患にご注意！

4月より小児科常勤医師として勤務することになりました梶野幸子と申します。東京女子医科大学病院で小児科医師として勤務、小児科専門医・医学博士を取得しております。どうぞよろしくお願ひいたします。さて、5月からすでに夏日を記録する日が続いていますが、今回は特に夏場に、主に小児に流行しやすい発疹を伴った疾患についてご紹介いたします。

①ヘルパンギーナ

エンテロウイルス群というウイルスが原因で起こる感染症です。突然の発熱とのどの奥に水泡ができ、水泡がやぶけると潰瘍になり痛みを伴います。1～4日で解熱し、1週間程度で治りますが、のどの痛みで飲食ができなくなることがあります。のどにしみない食事や水分を少量ずつ与えます。

②手足口病

ヘルパンギーナと同様、エンテロウイルス群によるウイルスが原因でおこります。発熱は必発ではなく、あっても1～2日程度と軽く、文字通り手・足・口の中に米粒大～小豆大の水泡・丘疹が出現します。ヘルパンギーナ同様、のどにしみない食事や水分を少量ずつ与えます。



③伝染性膿痂疹(とびひ)

主に黄色ブドウ球菌による感染症で、6月～9月の高温・多湿期に多く発生します。虫刺されやちょっとした傷がきっかけとなり、そこに菌が感染して発症します。水泡の形成が特徴的で、水泡は容易に破れ、体の別の部位や身近なこどもにも伝染します。治療は抗生物質の外用および内服を行います。伝染性膿痂疹は感染力が強く、タオルやお風呂、プールを介して感染します。タオルの共用はせず、お風呂は最後にするかシャワーを利用します。皮膚を清潔にする、つめを切る、手洗いを励行するなどの注意が感染の拡大を防ぐポイントとなります。



いずれも夏に発生する頻度の高い疾患で、乳幼児に多く発生し、ときに保育施設などで集団発生が起こります。うがいや手洗いなどの感染予防に努めましょう。気になる症状が出現した際には、お気軽にご相談ください。

小児科は4月から2診体制で診察が行えるようになりました。これまで以上に待ち時間の短縮に努め、心のこもった診察を行っていきます。

整形外科からのお知らせ 4月より毎週水曜日の診察が開始されました

初めまして。4月から毎週水曜日整形外科外来を担当することとなりました大津洋和と申します。2008年に獨協医科大学医学部を卒業し、自治医科大学付属病院整形外科に入局致しました。以後、自治医科大学付属病院の関連医療機関を経て、2016年から那珂市の西山堂慶和病院で外来と手術を行っております。主に手、肘、肩関節疾患を専門としております。

常陸太田市は比較的高齢者が多い地域と伺っておりますが、老若男女問わず様々な整形外科疾患において、外傷(骨折、脱臼、打撲、捻挫等)、変性疾患(加齢に伴う間接の病気)、スポーツ外傷、小児整形外科(先天性股関節脱臼など)の多岐に渡る疾患を診療させていただきます。



受診される患者様からは、『暫く自分で薬や湿布をして様子を見ていたけど良くなって来ませんでした。』と言う方が多く、実際に整形外科的な疾患の場合、診察、画像検査(レントゲン、CT、MRIなど)診断がつけば対処方法が明確にわかり、すぐに治療が行える可能性が高いと私は思っております。そのため、何か気になる症状がある場合は、自己判断で様子を見ずに一度御相談にいらしてみてください。

また、『町、会社の検診で骨密度が低下していると言われたので骨粗鬆症の検査をしたい』といった声もよく伺います。当クリニックでは骨密度検査として採血、レントゲンでの検査を併用して適切な治療を行って参ります。骨粗鬆症の治療はあくまで骨折予防のための治療で、あまり治療としての実感が沸かない(飲み薬、注射などを行っても効果があるのかわからない)と思いますが、6か月～1年毎に行う骨密度検査において、治療を行うか行わないかで歴然と差が生まれます。

これを機に気になる方は一度整形外科に受診をしてみたいはかがでしょうか？

痛み、しびれなど患者さん本人にしか分からない辛さなどがあると思いますが、その症状をいかにして日常生活に支障を来さない様に治療を行っていくか、を常に考えられるような診療を行って参りますので、宜しくお願ひ致します。

【整形外科診察日】 毎週火曜日、水曜日、木曜日、土曜日

